

映雪餘聞 第七

15
1560
6



1871
2

1871
2



中
雪
餘
甫

~~211~~
3R

昭
和
年
月
日
氏
贈

15
1560
6

37 5551



雪餘甫

第七

Handwritten red ink scribbles, possibly a signature or seal.

Handwritten red ink marks, possibly initials or a date.

昭和年月日
氏贈

No.

No.

弓

弓
十
心
心

雪
餘
同

一
号

左
端
上
カ
子

中
報

カ
子

平
子

子
号

目次

（中七以下九十七除キ原冊二八目次ナキモ便宜之ヲ録ス）

一 埃及人ノ工業

一 東山ノ唱歌

一 作文備考古書

一 么板元瑞ノ一とせし

一 狂歌

一 臨書豫防法

一 宗明論

一 代交ノ起端

一 人向ノ血温

一 信用ノ効

一 瓦斯燈ノ起原

一 後水尾院内勅衣

一 農ノ天下ノ大本

一 俗言俚語ノ類

一 予稿ノ執一ノ字

一 杜ノ効能

一 和漢古今ノ名詞佳句

二段

一段

下段

（中七ノ目次）
中扉
扉裏

12 本
お文

管理員同力七

埃及人ノ工業

牛ヤシカニ此カニイテイヤー首シテアセ、
ヒーブルシヨリ抄訳

6号

トヲ費セント云フ
ピラミッドノ建設ニハ
キオモ教百里外ヨリ
ニテサクモ一年以上ノ
又云フ
人ノ人夫ヲ以テ三年ノ
フ<而>格ハ教箇ノ繩ヲ
トヲ費セント云フ
大^出井^品路ノ一箇一
キオモ教百里外ヨリ
ニテサクモ一年以上ノ
又云フ
人ノ人夫ヲ以テ三年ノ
フ<而>格ハ教箇ノ繩ヲ

引カシノ繩ヲ
初カシム
直ニナイ
テ^出海^品ハシム
石ヲ運搬ス
ヲ築造セ
之ヲ揚ル
ニハ非
ノ名ニ人
ラン

(カナ目次)

目次
（右カナ目次）
（左カナ目次）

銀座 伊東屋製

手紙

2

夏
相推乃へ
深
山陽

彼紅海トナイルノ支流ノ間ニ用鑿セシ渾河ノ
名ニ及シト十二万人命ヲ失ヒシノミナラス
此支業モ功ヲ奏スルニ及ハスノ中止セリトソ
ノロドタスノ説ニ及當時ノ僑侶ハ何ラミ
一ドノ建^設ヲ以テ^全品ニ疲弊ヲ極メ又々
品モ其困難ヲ極メシ時代ナリト云ヘリトア
リ云々

東山ノ唱歌

京都ノ陶器師ニテ木米ト云フ者アリ
兼テ画

ヲ能クシタリ
頼山陽ハ其友ヲ擇フニ敢ナシ
人ナリシカ尤モ木米ト教シ花月ノ韻古ニ又出
相推乃ヘテ深シク以テ當時京都ニテ木米ト山
陽ハ即神滿徳利ト云ントカヤ
一歳山陽木
米ハ當時才藝秀絶ノ名ヲ得タル深路ト云ハ女
ヲ推乃テ花見ニ行キ知恩院山ノ前ノ櫻ヲ賞シ
ケル折フシ木米ハ懐中ノ半紙取出シ深路ノ紅
筆ヲ借テ己レト山陽深路ノ三人如座ニ腰打掛
テ山ノ前ノ花ヲ見ル因テ疎画ニテ写シタリ
山陽之ヲ見テ面白シ
其其詞ヲ作ラント云

銀座 伊東屋製

五下

すかぬ

ク紅筆ニテ即坐ニモノセヲル

ひやし山

ふとんきいてぬさるすのたゝふるぬあき

者めく智恵院その樽門の夕暮に在るあ

二あらはせてすかぬ容態よひこおす

八相ほろる鐘の聲きやうむしよるハ

ののわしむしやうのほりつめ花ハ

つちあらのなんふ薬こそとけれしけ

きつそみとりのめたちいふか兄

やまのみな

花押

又其画ニ本末勅款ニハ山陽先生与僕兄葎

山下花戯借美人紅木末書トアリ

歌一紙ハ今某ノ藏トナリテ秘ニ置クト云フ

作文備考古書

各種ノ文依テ習フニ読ムハ大抵書トテ某雜

知文ノ部ノ源氏物語伊勢物語大和物語深花

漢竹取物語上佐日記蜻蛉日記狭衣

草紙枕草紙今昔物語徒然草平家物語

銀座 伊東屋製

5字下

法古里拾遺、十訓抄、字法拾遺物、評多アリ

漢文一部

尤氏傳、史記、漢書、國語、戰國策、老子、荀子、莊子、淮南子、列子、說苑、新序、韓非子、楚辭、管子、爾雅、公羊傳、穀梁傳、呂氏春秋、晏子春秋

此

此外四書五經八家文文章規範の中ニ及ニ十八史、易知錄、綱鑑補遺、通鑑

等一史類其他文集ノ類、雑集、トス、看ル、良ニ

文体文法助辞虚字ノ部、文化、明、并、作文、志、讀

5字下

書作文譜、作文學、説文、筆跡、加筆、文談、尤氏助字法、文法解、缺文、須知、助字訣、通史記、助字法、用字格、和語要領、助語、番象、助字詳解、助字鶴、漢村文話、漢字解、虚字解等ナリ

狂文一部

狂歌詞海、古今著聞集、都花子、江戸歌集、昌記、妓山日記、和漢朗詠集、俗説并、大坂繁昌記、昔々春秋、梁塵愚案抄、万載集、風来六部集、万紫千紅、四方のあ、

銀座 伊東屋製

Handwritten notes on the right page, including a vertical title '利狂新' and several columns of text.

心の中、密持家集、田舎花子、假字お説、四方留種、曾
利狂新

心の中、密持家集、田舎花子、假字お説、四方留種、曾

久坂元瑞

久坂元瑞、一とせふし

一、ワトセ、人、生れて来の良、中心と孝とよ死

ぬの、お

二、ワトセ、ふたつと、はたき、身を、ル、ちて、お、め

て、お、ち、る、す、る、の、お、つ、く

三、ワトセ、之馬乃口をひき、あ、し、あ、て、あ、を、し

錦の、お、旗、を、ひ、く、の、お、せ、く

四、ワトセ、よつ、ほ、と、誠、ま、屋、さ、ね、い、真、の、ま、お、こ、と

は、あ、い、れ、ぬ、お、あ、

五、ワトセ、い、つ、あ、で、た、あ、い、く、生、る、と、お、松、ふ、お、

お、あ、い、れ、ぬ、お、あ、

六、ワトセ、わ、つ、あ、し、そ、う、お、顔、を、し、て、人、を、お、

お、あ、い、れ、ぬ、お、あ、

七、ワトセ、お、あ、い、れ、ぬ、お、あ、

銀座 伊東屋製

六
トセ

おくらやの御もとり候とてわ
心す

五
トセ

一ツ此のわらぬ吾國
いよそより起

四
トセ

折りすかたみい日の
た乃深き事

三
トセ

造をいしめてそなへして
御城のう

二
トセ

文よむとては物の、
ふ乃心し候

一
トセ

人乃子より
吾國をかさむるとこ

十
トセ

君の子と悲し
とんとおのし
首をき

九
トセ

こ、此の
此をめらまは
己の心

八
トセ

此れは
この身はさ
ると此
心

銀座 伊東屋製

Handwritten notes on the right page, including a vertical line of text and some illegible characters.

7
一
中
下

七つトセ
はるをいれし
何においては
父と

八つトセ
はは
（以下不記）

九つトセ
こゝろ初めぬるの
友らハこぼり
つよき備へなし

十トセ
豊あし原の中は
と波ハ多、せじ
春の風

狂歌

三
字
下

五
字
下

コハ蜀山人香鷹等、
狂歌ヲ同ク、
随ヒテ
写
セシナリ

桶屋の親子喧嘩、
主入セ
蜀山人

本々竹の舎理を云共
云こゝ親あつて
おとや
誰の笑ふとル

竹藪の蔵はる
反古志を命せられ
了
時
五月の頃
存れ

五月雨の日
返あけ
藪の反古志
久
あふよ
てふ
あ
あ
あ

加
ま
あ
り
て

香
鷹
鳥

銀座 伊東屋製

や
盆くとをまき陰の亀のれ
軍舞ん
どよまのすーき
秋の野の、風の吹ぬ、交りまなく招くは、
初尾花
茶椀をわけて
高砂の屋上ののねひき音あり赤土にぬく茶碗
多あしあ
元日どんとひんとの底ぬけてあし午=残る
のねのつる
木綿を買った時一分といひ名付
一分とにあり阿この浦ルめあみのよう
たまるつとひけ
主人の留守、妻はし
由亭の帰るやあおれし秋のあり
やさそひり
あひまをこきあ
あひたち、これ良し
おならつ

あひたち、これ良し
おならつ

銀座 伊東屋製

主人返し

あがりくさ、りはなむせす

印能と見せし時

蜀山人

いんろのひる永くと考の目にくれよこ、ろ

のくれぬこ、ろあ

京都のつしなる大臣家の婚礼の夜

右功郷

あまのこし狐のづし一のみこんで出とる御堀

の顔にむけるの

酒一升の三百文の高價になりし時の新

年

同

酒のぬをてんとこじみよきて桃子の高以

春の東の息

後室通祐卿の初めて茶屋の富士守を

けてルてなされまは

人あねをさるの布しのあはかて庭のこし

さ、武藏野

土左衛門を見て

蜀山人

南木阿ねだむつと浮たりはんたり、つこの人

の解木しらぬ人

富士守を分け

新

45

4 10

山王様を見て
 おまづりめてたあらう物類し斗斗
 身所あひし
 ふの極所の角まで宿馬匠の出逢ひ宿馬匠
 才あたれい宿馬匠大ありし謝詞同
 子いおて宿馬匠あ又あそいたとうそあ事
 夢あれいし
 鉄砲所の人逢あまたれあ年あ宿馬
 昔あ同く鉄砲所の人なれああまの肉あ出あいあ
 やはなあ事あ去あ
 淀稻葉の主人あのあ召あせれあ終あてあ扶あ持あ人
 とあなりしあ時
 一あ交あこあひあ二あ交あこあひあ三あ交あ四あ交あこあひあのあ井あ津ありあてあふ
 ちとあほありあぬある
 ちとあほありあぬある
 こあひあそあはあれあ

ちとほりぬる
 の豆軽き水のりり水ハ 蜀山人
 行のりる通りのりる水あのりる豆軽いのるか
 るのりる水あのりる豆軽いのるか
 己ほれ下れたくはしルハのしち外あ也

銀座 伊東屋製

山王様を見て
 おまづりめてたあらう物類し斗斗
 身所あひし
 ふの極所の角まで宿馬匠の出逢ひ宿馬匠
 才あたれ宿馬匠大ありし謝詞同
 子いおて宿馬匠又あそいたとうそ事
 夢あれし
 鉄砲所の人逢またれ年宿馬
 昔同く鉄砲所の人なれあまの肉出い
 やはな事去
 淀稻葉の主人の召せれ終て扶持人
 となりし時
 一交こひ二交こひ三交四交こひの井津りてふ
 ちとほりぬる
 こひそはれ

歉

冷涼也ト年々秀ク枯失スルモノニハアラス
 且ト夏秋ノ兩期中絶ス 降雨曇天ノ之続クト
 云モ甚希也ト也 其合螟害之由ト明カ也ト
 蓋シ該螟ハ華白ノ寒暖計七十三夜ヨリ成育シ
 八十夜ニ成盛ニ又其ヨリ以上ノ熱友ニ至シハ啖
 食力稍衰フ 又稻ハ温熟九十夜以上ニ成盛シ
 ハ成長益速クシテ少シク螟害ヨ受ルモ美麗ニ
 結實スルモノ也 但シ聊カニモ虫蝕シタル
 莖ノ之ヲ多量ノ稻ニ比スルハ亦量輕クシテ米
 粒充沢ナク且ニ精クシハ碎ケ易ク又味佳ナラ
 ス 政ニ夏期甚キ北風或ハ霖雨アルニ温氣ハ
 七十四五夜ニ降リ稻ハ適成ヲ失テ成育セズ
 類ノ食蝕シ以テ粘稿セシメ飢饉ノ慘毒ヲ吾人
 ニ被ラシムル也 由是考フレハ虫災ハ氣候風
 雨ノ順逆ニ依テ螟害ニ厚薄アルノ理由ニ外ナ
 ラサルヲ証スルニ足レリ 故ニ豊稔トハ其害
 ノ人目ニ解レサルモノヲ云ルニテ本系螟虫ノ
 此地方ニ於テハ必ズ其收穫高ニ五分乃至一割
 ノ損欠アル可キナリ

銀座 伊東屋製

妙

妙
4
字

五
稻蟥
生
期

該虫ハ稻株並ニ槁莖中ニ蟄伏シ
翌年ニ至リ華氏ノ寒暖計七十三度夜ノ温ヲ得
テ始テ蛹ニ化シ七十八度交ニテ蛾ニ孵リ夜陰
ニ交接シ其雌ハ直ニ稻葉ニ卵ヲ産着ス其虫
ハ先ツ尾孔ヨリ白色ノ粘液ヲ出シ之ヲ葉面ニ
塗抹シ其上ハ印數百顆ヲ産下レ又其上ニ同シ
粘液ヲヌリ又其上ハ己レノ尾毛ヲ抜キテ之
揮植シ斯ノ如ク其蛾ハ不日ニ死亡ス人若

年掌ニテ此卵ヲ敲キ潰セ其毛ハ高ヲ刺セテ
炊衝ヲ起シ大ニ腫脹セシム該卵ハ八十五交ニ
テ孵化シタキシタム虫ハ遠ニ行リテ莖葉ノ軟
部ヲ求メ其所ニ頭ヲ突キ入レ三四分間ニ悉ク
葉管或ハ葉中ニ蝕入ス又風吹ク片ハ其口ヨ
リ蜘蛛ノ如ク糸ヲ曳テ他ノ稻葉ニ移リ行也
該虫ハ廿四五日間ニ老成レテ再ヒ蛹トナリ後
七八日ヲ経テ又蛾ニ化シ比蛾ハ三四日同ニ卵
ヲ産シ其卵ハ十四五日ヲ経テ復ヒ又孵化シ
十ニ故ニ類ニ一廿ニ幾ト五十日同トス蓋シ

銀座 伊東屋製

一 下

其他地方ト多候トヨリテ発生ニ遅速アリ因テ
一 歳中ニ早キハ三毒毒キハ二毒ヲ経ルナリ

五ノ下 螟虫 駆除心得

一 螟害ノ発生セシ地方ニ於テハ一般早中晩稻

一 下

并ニ被埋ノ軽重ヲ問ハズ稻株ヲ或丈ヶ堀取
ハシ

ハシ

14

一 下

一 堀取リタル稻株ハ石灰及ヒ廐肥ニ混入シ或
ハ人糞ヲ既キ堆糞トナシ以テ害虫ヲ殺ス

ハシ

但シ其稻株ヲ乾燥シ燒テ其灰ヲ肥料ニ用
フルモ可シ

一 葉ハ先ツ被害ノ最モ甚キモノヨリ漸次炊用

或ハ廐敷ニ用ヒ又四月後ニ用フル葉ハ土藏

等ハ困ハズ蛾ノ飛散ヲ防クカ或ハ其葉ヲ打

テ螟ヲ殺シ置ス又之ヲ毎旦煙ノ塵スヘキ

二階等ハ上所置申ハ螟ハ糸ヲ曳テ地上ニ下

ルヲ以テ輒々捕ハテ殺スルモノ也

一 田畔並ニ路傍等ニ其葉取リ申ハ諸害虫ニ

銀座 伊東屋製

潜伏スルモノナレハ年内ヨリ早春迄ノ回寒
 集~~最~~列ノ候ニ可成速ニ焼尽スヘシ
 一苗代ハ害虫駆除便利ノ為長サハ適宜幅四尺
 位ニ^サ付ヘシ

一蛾発生セハ苗代及ヒ植付田其他麥豆菜種田
 等總テ発生畢ニ^迄速テク其日ヨリ十時頃
 迄^迄火燒蛾ノ法ヲ施スヘシ

但シ燒蛾燈ハ鹽或ハ水鉢等ニ水八合目程
 入レテ油ヲ滴シ其中ニ木片等ノ蓋ヲ置
 キ其上ニ皿杯ヲ乗セテ^高火スヘシ

一第二回亦三四ノ発生モ市上ノ如ク施行スヘシ

一桑火ノ數ハ一反寄ニ付一ヶ所迄ヲ置^ハヘシ
 但シ苗代桑火ハ一畝歩以下二ヶ所一畝ヲ
 増^ス毎^ニ一ヶ所ヲ加フヘシ

一浮流セハ腐稿中ニ老蟬ノ^蟬伏スルモノナ
 レハ田草ヲ採ル中其腐稿等ヲ^採集メ草ト
 共ニ泥中へ深ク押込^ハヘシ

一蛾ノ産付ケタル卵ハ直ニ^蟬化メ葉皮中ニ蝕
 入り其所ニ淡黄或ハ白色ノ^斑現ス而シテ

斑

銀座 伊東屋製

Handwritten notes on the right page, including the characters '心葉' and '枯'.

16
Handwritten scribbles in red ink at the top of the page.

12お

心葉、枯レタルハ己ニ蝶ノ中心ニ蝕入セ
徴ナレハ悉ク之ヲ摘ミ取り深ク泥中ニ跳込
一川採ルヲ七日以前ニ穂枯成ハ立枯五厘未滿
ハ直ニ傷莖ニシテ際ヨリ抜取り悉ク焼セス
此他實際施行ノ諸方法ハ便宜ニ之ノ議定
設備スルニ

用明
Handwritten red characters and a large red arrow pointing downwards.

用明ニ入ルノ方法ハ摺交ヲ務メ比較力ヲ發揮
シ旧習ノ意思ヲ翻テ新旺ノ志念ヲ起スニアリ
夫レ人用明ノ域ニ進マント欲セハ須ク新変
物ニ接セサル可ク
且之ヲ為ニ開然然タリ所アリ
進路ノ冲一歩ナリ
南洋ノ教化スルニ先其方言ニ通シ其禮奉ス
ル所ノ諸神ヲ察シ其民俗性情ヲ明ニセサル可
ク

銀座 伊東屋製

12トラス 亦能ク知識ヲ擴張スルノ源ト爲サ
 ビル可ラス 皇田明ノ友ノ最モ高才人民ノ最
 モ多ク航海ヲ務ムル者ニ由ル所以ナリ
 木製ニモアレ石造ニモアレ凡ク家屋止ニ人
 ノ安全年更ナラシムルニ非ズ 其勢力
 知識ヲ増益スルノ切ニ於 既 淺鮮ニ非ストス
 今夫レ此所ニ或ハ漂泊スル人ニ在テハ豺狼ノ
 害ニ虞カルスラ 皇 アラサラトス 何リ其他
 ノ求メテ 苟モカク家屋ノ 經 営ニ用ヒテ其身
 ノ安ニスルヲ得ハ 既ニ右等ノ害ヲ免レテ兩害
 畢致 亦我ヲ累スノ憂ナシ 此ニ於テカ好テ其
 知識ヲ磨勵スルノ業ニ從フヲ得ヘシ 然レハ
 則チ用明ニ進ムニ先ク家屋ヲ定ムルニ在リ
 ト為スヘシ
 此ニハ例陋ナシ 印支地方ノ如キト雖 一日迄
 路橋梁ノ修築備ハルニ及レテハ便利治才ニ角
 ヌ 仁人良牧師 勸業者 富有人 用事人 等 接踵メ起
 リ 約 洋 獵 牧 場 忽チ 普ク 百 般ノ 農 工ノ 域トナ
 シ 一ノキ 也
 去リ其 御 牛 上 共ニ之ヲ 前 垂 中 入レ 世 前ニ 至リ 告テ 曰ク 此ノ 如キ 村
 拓 砂 土 中ニ 春 蟻 々々 見 見 何 事 由 糧 穀 十 十 成 成 十

去リ其御牛上共ニ之ヲ前垂中入レ世前ニ至リ告テ曰ク此ノ如キ村拓砂土中ニ春蟻々々見見何事由糧穀十十成成十

12トラス 亦能ク知識ヲ擴張スルノ源ト爲サ
 ビル可ラス 皇田明ノ友ノ最モ高才人民ノ最
 モ多ク航海ヲ務ムル者ニ由ル所以ナリ
 木製ニモアレ石造ニモアレ凡ク家屋止ニ人
 ノ安全年更ナラシムルニ非ズ 其勢力
 知識ヲ増益スルノ切ニ於 既 淺鮮ニ非ストス
 今夫レ此所ニ或ハ漂泊スル人ニ在テハ豺狼ノ
 害ニ虞カルスラ 皇 アラサラトス 何リ其他
 ノ求メテ 苟モカク家屋ノ 經 営ニ用ヒテ其身
 ノ安ニスルヲ得ハ 既ニ右等ノ害ヲ免レテ兩害
 畢致 亦我ヲ累スノ憂ナシ 此ニ於テカ好テ其
 知識ヲ磨勵スルノ業ニ從フヲ得ヘシ 然レハ
 則チ用明ニ進ムニ先ク家屋ヲ定ムルニ在リ
 ト為スヘシ
 此ニハ例陋ナシ 印支地方ノ如キト雖 一日迄
 路橋梁ノ修築備ハルニ及レテハ便利治才ニ角
 ヌ 仁人良牧師 勸業者 富有人 用事人 等 接踵メ起
 リ 約 洋 獵 牧 場 忽チ 普ク 百 般ノ 農 工ノ 域トナ
 シ 一ノキ 也
 去リ其 御 牛 上 共ニ之ヲ 前 垂 中 入レ 世 前ニ 至リ 告テ 曰ク 此ノ 如キ 村
 拓 砂 土 中ニ 春 蟻 々々 見 見 何 事 由 糧 穀 十 十 成 成 十

原文
何如

日々見可其物ヲ遠スル勿レ吾輩不日此地ニ住スルヲ得サルニ何上レハ
 山ノ如キ糖人ノ早晩全土ニ充滿スヘケレハナリ云々
 此ニハ郵便局ヲ設ケタル其進取ヲ裨クル大也
 トス 既ニ道路同ケ郵便ノ設アリ 百敏ノ技
 術増加スルニ從テ更ニ分業ノ下起レリ 此ニ
 於テ人始テ其天赋ノ能力ヲ据テ精ヲ一貫ニ專
 ラスルヲ得 自然ニ煉達人ヲ出シ各其巧如
 フ量ニ以テ其名声ヲ甚ニ重ルニ至レリ
 政府ヲ組織シ法ヲ建制スルニ其地ノ廣狹人
 種方言宗教ニ從テ常トスレ 此亦多少英倫敏
 達ノ士カ考思スル 所ノ計回ヲ藉ルニ非スハ
 有ニ能ハサル 去レドクトルト一マス、ブ
 ラウンスハ数万人ノ共ニ罪セント欲スルモ何
 如レスルナキニ方リテ只法を十ルモノ善ク地
 球半周ノ遠ニ在ル 独箇人ノ罪ヲ暴表スヘキ
 ト云ヘリ 此レテ
 同他ノ如何ヲトスルノ方ニ 報復ヲス
 夫婦ノ位置 婦柔順ノ心ヲ以テ夫ニ接シ和メ
 乱レサシム如キ其人ノ貞以テ道徳ヲ尊フ者ニ
 男子ニ及ボス影響大ニ去レ進取ヲ補益スル
 浅少ニ非レ 新聞紙

銀座 伊東屋製

Handwritten text on the right page, mostly illegible due to fading and bleed-through.

新聞紙ノ盛大
治版ノ廉
時ニ万紙ヲ印シ今
ハ實人ノ門ニモ宛テ一大冊ヲ起シタル如ク
凡ク其思必用ノ支理思想一トシ其眼ニ上ラサ
ルモノナリ而シテ交之ヲ覽ルノ後ハ瘡紙トシ

汽船ノ其初ハ各國人民ノ技術ノ湊合ニ成テ
今ハ完備遺ス所ナリ而シテ其用タル中磁石並ニ
大陰回轉ノ実験ト時辰儀ニヨリ算定ル交教ノ

海國ヲ以テスルハ其方向ニ從ヒ一千里ノ外ト雖
縦横ニ馳騁スルニ
道徳ハ社會ノ用明ニ必用ナルモノニシテ用明ハ
道徳ト並進シテ常トスルハ既ニ用明ハ道徳ト並
行スルナリヲ知ラハ道徳アリテ後ニ用明アリト

考スヘシク次ニ人ニハ簡便ヲ好ムノ性アル者
故テ般ノ方法ニ便不便アルハ古以テ用明ヲ微
スヘキナリ
船中ノ器械能ク一時回ニ海水ヨ
リ新鮮ノ水ニ面ガル口ニシテ製出し瀑布ニ滑車
ヲ設ケテ自由ニ銀ヲ運動セシメ木材ヲ截リ又
潮汐ヲ假用シ滑車ヲ設ケテ自由ニ銀ヲ運動セ
ルニ木材
勅カシ五穀ヲ新磨シ木

録座 伊東屋製

歳入ノ夥多ナルニ非ス
人民ノ衆多ナルニ非ス

ヲ截リ巨石ヲ劈ク等ノ一ツヨリ、蓋、曉、策、力、電
 氣、光、力、磁、石、力、風、火、力、等、日、ト、メ、用、ヒ、サ、ル、ト、シ
 此ノ如ク、一、般、ノ、受、豊、ハ、自、然、ノ、元、素、ニ、藉、テ、正、シ
 其善美ヲ期ス、一、シ、交、際、上、政、治、上、豈、ニ、異、ナ
 ランヤ、宣、ク、自、然、ノ、理、ニ、則、テ、其、品、勝、レ、モ、レ、ヲ
 擇ヒ以テ、私、利、ヲ、後、ニ、公、益、ヲ、先、ニ、ス、一、キ、ト
 取明ナル政府ハ、常、ニ、不、善、ニ、流、ル、一、ノ、弊、ヲ、塞、カ
 之為ニ至重ノ税ヲ人民ニ課スル、一、リ、是、止
 ニ政府ノ利ノミナラス、諸、都、会、諸、村、落、ノ、智、徳、ヲ
 益ムル、一、ト、拿破崙、曰、ク、不、善、ハ、後、国、者、也、ト
 是レ、金、筋、カ、審、テ、ラ、レ、デ、一、ニ、至、重、ノ、税、ヲ、課、シ
 五百万金ヲ得テ、国、用、ヲ、濟、セ、シ、ニ、出、ル、ノ、言、ナ、リ
蓋、シ、此、税、ハ、不、善、ノ、教、育、物、ニ、コ、テ、課、ス、ル、ヲ、得、レ
道、徳、上、ヨ、リ、募、ル、可、ク、サ、レ、ハ、ナ、リ
蓋、シ、用、明、ト、ハ、都、府、ノ、大、ナ、ル、ニ、非、ス、一、ノ、只、共、人
民、ノ、出、行、ノ、善、ニ、オ、ル、ナ、リ、蓋、シ、一、國、ヲ、リ、技
術、ナ、ク、新、聞、演、説、ノ、條、例、ニ、制、セ、ラ、レ、郵、便、ニ、一、定
規、制、ナ、ク、公、和、ノ、負、債、其、約、ヲ、踏、マ、ス、一、モ、社、会
ヲ、保、持、ス、一、キ、一、自、由、ヲ、存、セ、ス、婦、人、モ、醜、夷、ヲ、極
ノ、百、物、皆、外、国、ニ、仰、テ、自、ら、發、明、ス、一、ト、知、ラ、ズ

銀座 伊東屋製

算文
之ニ要スルニ

21
[Red scribbles]

選摩法天行ハレサルカ如才ハ野蕪ト云テ可也
此ノ如キ石ニ上壤ノ腹氣候ノ和沿海ノ勝
アルモ亦用フルナカラレトス而道徳ノ用
明ニ欠ク可クサレハ今一商估ノ宮業上ニ於テ
其信義自由著ルキ効驗ヲ存マツ見テモ知レ
レモ此テ不キ言ニ國ノ南明トハ土地ノ
豊饒ナルニ非ス自由ニアリト然レハ南明
ノ最上乘ハ一國人民ノ智徳ノ域ヲ拓クニスル
ニアル下端ヲ俟スノ明カナリ

化学ノ起端

ケニストリ「化学」下ニ語ハ蓋ニ往古ノ名ニ
即チ亞刺比亜語ノアルケニ「刺源」路ニ英
語ニ垂セシモ「此」語タル「黒」術或ハ埃及技
術ノ意味ニ蓋シ其濫觴ハ埃及人種カ身ニ刺
刺スル「ケ」ニアル語「梵」語ニ「源」スルナラレト云
リ又埃及下ニ語「素」ト他子人ノ通テ語子ヲ
稱スル名ニ「本」名ニケレバ其國土地ノ「素」ニト考
フルモノアリ是レ心ヲクハ「素」強ニ「信」スル
ニ至ラサル「三」要スルニ「亞刺比」西「ア」

刺

銀座 伊東屋製

[Faint handwritten text on the right page]

22

ルケ~~レ~~ル~~ル~~語ノ~~四~~維~~旬~~語ニ~~判~~ノ~~路~~ニ~~英~~語ノ~~ア~~
ルケ~~レ~~ト~~ト~~リ~~レ~~テ~~信~~ニ~~入~~レ~~ト~~ナ~~ル~~然
而~~テ~~後~~来~~人~~智~~ノ~~用~~障~~ス~~ルニ~~隨~~ヒ~~古~~来~~人~~カ~~カ~~尋
常ノ~~金~~属~~化~~ノ~~黄~~金~~ト~~爲~~シ~~テ~~云~~方~~法~~ヲ~~守~~リ
テ~~空~~ク~~共~~老~~衰~~ヲ~~費~~シ~~テ~~古~~文~~ノ~~誤~~誤~~ヲ~~悟~~リ~~遂~~ニ~~此
務~~ヲ~~察~~メ~~ヨ~~リ~~アル~~ケ~~ニ~~レ~~ル~~語~~ハ~~專~~ラ~~右~~特~~別~~
ノ~~学~~業~~ノ~~ニ~~附~~シ~~新~~ニ~~ケ~~テ~~ス~~ト~~リ~~ル~~語~~ハ
以~~テ~~宇宙~~同~~現~~存~~スル~~所~~ノ~~数~~多~~ノ~~物~~性~~ヲ~~講~~究~~ス~~
ル~~学~~術~~ノ~~名~~ト~~存~~ス~~ニ~~至~~レ~~リ~~ニ~~ド~~キ~~ニ~~シ~~ン~~ 650

人間ノ血温

凡~~ソ~~地球~~上~~ニ~~於~~テ~~黒~~人~~ノ~~如~~ク~~熱~~帯~~ニ~~住~~シ~~又~~ハ
不~~キ~~毛~~ノ~~人~~ノ~~如~~ク~~寒~~帯~~ニ~~住~~居~~ス~~ル~~者~~ト~~虽~~モ~~其~~
血~~温~~ニ~~至~~テ~~ハ~~等~~シ~~ク~~三~~十~~七~~度~~半~~ニ~~至~~ル~~者~~ト~~是~~毫~~毛~~
差~~異~~アル~~ヲ~~ナ~~シ~~固~~テ~~若~~シ~~血~~温~~ニ~~一~~度~~ノ~~差~~異~~
ヲ~~生~~ズ~~ル~~中~~ハ~~刻~~々~~大~~病~~ノ~~徵~~候~~タル~~知~~ル~~ヘ~~シ~~

信用ノ却

4 紀元~~十~~六~~百~~二十~~年~~西~~班~~牙~~ノ~~師~~蘭~~ノ~~不~~列~~打~~ノ~~國~~
是~~時~~城~~中~~疾~~癘~~ヲ~~患~~フ~~ル~~者~~衆~~多~~ニ~~シ~~テ~~防~~御~~不~~善~~

銀座 伊東屋製

原文
流計

勝へス城陥ルト且夕ニ在リオレニ候得ク長
 慮シ之ヲ救ハシトメ一計ヲ設ケ先ク城中ニ去
 諭メ曰余今良薬ヲ直ニ候ク病ヲ起メシムヘキ
 又一ヲ施与セシト城中踊躍喜ビ皆首ヲ延ヘ
 テ之ヲ待フ候乃チ甘菊樟腦蒿艾ノ液ヲ取
 リ之ヲ救小瓶ニ盛リ医官ヲ遣リ遍ク城中ニ頒
 布再々之ニ告シメテ曰ク此ハ是劇薬也一滴
 斗水ニ俾ムモ能ク其功ヲ奏スヘシト其計甚ク
 密ニ將校ト曰事ヲ知ルモノナレ既ニ兵
 士等共水ヲ用ヒシニ其功ノ著キテ帝ニ病ハ傳
 染ヲ止ムルノミナラス現ニ之ニ難ハ者モ亦皆
 全治スルヲ得テ城遂ニ完カリ候是藥ノ効
 アレ非スメ之ヲ信スルノ切實ナル由テ也
 此世凡ソ厭勝禁思等ノ疾病ヲ治スルト云ヒ
 亦皆此藥ノミ彼嘗ニ他術アリヤ故ニ之
 ヲ文字ノ人ニ用フヘシ有識ノ人ニ用フヘカ
 ラス
 印文ノ某州ニ一ノ奇恠アリ罪人ヲ審判スルニ
 先ニ其形跡ノ疑ハシキモノヲ悉ク法廷ニ召集
 シ官吏咸罷ヲ以テ其前ニ立テ大詰之ニ告

銀座 伊東屋製

明治十八年
即西曆一千九百零三年
ルナリ

瓦斯燈ノ起原

クルニ罪アル... 罪必ス從フノ理ヲ以テシ乃チ
之ニ食ヲ与ヘテ其哺ヲ驗シ中ニ涎液ヲ含ム
トヨ拍留シ後之ヲ推搦スルニ大抵本犯ヲ失ハ
スト云フ
消化力ヲ止メテマタ奈何共スルヲ令キニ由ル
ノミ
其即友人ノ風ニ此理ヲ知レル亦焉ト謂
ハシ

今ヲ距ル一九十二年前英國
レドラス云所ニ蘇人維廉マードツク氏カ石
炭瓦斯ヲ製造シ自家ノ職工場ニ之ヲ燈シタル
ヲ以テ始トス
瓦斯燈ニ用フルヲ始メ八百十二年ニ至テ
倫敦ノ市街家屋等ニモ亦瓦斯燈ヲ使用シ猶數
年ヲ出ス
石炭瓦斯ヲ燈スルト成タルヨリ大ニ其需用ヲ
増加シ
斯製造ノ方々費ニ石炭由量ハ百五十万担ニ下

銀座 伊東屋製

農業

ノスト云ク 現今瓦斯製造ノ盛ナルヲ知ルハ

後水尾陽中製

何は是ニよ夜半ニ捨子ノ泣聲ニハ付、ヨクハ
カノ聲也如つらむ

農ニ天下ノ大本

人間ノ初メ此者ニ生活セシヤ唯遊牧漁獵ノ如
キ自然ノ真業ヲ以テシタムカ後ニハ之ニ甘セ

スノ耕耘ノ一ヲ始ムニ至レリ 此耕耘ノ力

ニ由テ人同始テ粗野ノ生活ヲ離レ平穩ニ職業
ヲ取ルノ似ヲ生セリ 今農業ノ文化ヲ進カ

所以ヲ歴考センニ 先之ヲ以テ人各其住居ヲ撰
ムノ必用ナルヲ感シ次ニ各自其家ヲ区分メ一

村ヲ為シ 後ニ其家數ニ隨テ一ノ市街ヲ為
セリ かく人同ノ群集スルニ當テハ衣服上又

ハ家産上ニ種々ノ需要ヲ求メ是ニ於テ各自職
業ナル者ヲ生シ之ニヨリテ各自ノ製作物ヲ交

換スルノ便ヲ求メ加テ商業交通ノ一アリ

銀座 伊東屋製

原文
要

要

其交通ノ結果はテ科^レ美^レ術^ヲ起^シ是^ニ於^テ右
地ノ報^告各人ノ通^信ハ云^ニ及^ハス算^数及^ヒ写
字ノ便^ヲ得^タリ^ク此ノ如^ク農^業開^拓ノ^一ヲ
推^測ス^ニ實^ニ今^日ニ至^テモ回^家ノ最^モ要^要
ナル^ニ起^端ヲ用^キシ^テモノハ農^業十^ニ一^ヲ知^ルハ
知^歌ハ元^{ヨリ}優^美ノ^一能^ク意^ヲ示^スル^ニ是^レ也
モノ十^ニ一^ハ云^フニ及^ハマ^ド作^ラル^ニ其^後ニ作^リ出

俗言俚歌ノ類

今様催馬樂ノ如^キハヤ、其^品格ノ下^ルコト覺
フ^ク又其^後ニ起^リシ^テ発^句ナル^モ一^ハ品^格ヲ以
テ論^スレ^バ又其^下タル^ヲ免^カレ^{サル}ハ言^フ俣
夕^ト虫^モ十^七ノ字^能ク多^量ノ意^ヲ含^マシ^ルル
ノ巧^{ナル}ニ至^テハ感^吟止^ム能^ハサ^ラシ^ムル^者
アリ^ク余^元ヨリ其^道ニ入^ラサ^レハ其^名句^{ナル}
ヤ否^ヲ判^スル^ヲハ能^ハサ^レハ^是處^ニ妙^ト思
ヒ^シモノヲ置^ニ録^スレ^ハ

朝^顔ニ^一つ^人と^られ^テ以^テ美^作

朝顔

銀座 伊東屋製

原
年
の
序
也

二
下
下

27

上
下
二
段

二
下
下

夕ニ取^あはり^あ聖ニお^あげん^あ草^あ
 道はたのルくけ^あ馬ニくは^あ道^あり^あ
 のけけ^あや命^あを^あら^あむ^あの^あつ^あら^あ
 金^あの^あ花^あや^あ水^あの^あ流^あと^あひ^あの^あ鏡^あは^あ
 わ^あう^あ影^あの^あゆ^あれ^あを^あ逐^あり^あゆ^あり^あつ^あき^あ
 酒^あを^あ飲^あんで^あ何^あの^あお^あの^あ道^あの^あ橋^あが^あ那^あ
 あ^あら^あさ^あ捨^あ子^あの^ああ^あき^あの^あく^あ道^あを^あ載^あ
 上^あノ^あ如^あキ^あハ^あ小^あ生^あノ^あ目^あニ^あ好^あト^あ見^あシ^あ止^あニ^あ共^あ眞^あ
 二^あ備^あフ^あ又^あ川^あ柳^あ十^あ者^あア^あリ^あ又^あ十^あ七^あ字^あニ^あ能^あ
 又^あ川^あ柳^あ十^あ者^あア^あリ^あ又^あ十^あ七^あ字^あニ^あ能^あ

夕^あ上^あノ^あ風^あ俗^あヲ^あ留^あ白^あク^あは^あル^あカ^あ如^あキ^あハ^あ素^あニ^あ又^あ
 一^あノ^あ術^あト^あ云^あハ^あキ^あハ^あ是^あ又^あ余^あノ^あ共^あ術^あニ^あ長^あタ^あニ^あ
 非^あサ^あレ^あモ^あ今^あヲ^あ得^あニ^あモ^あノ^あヲ^あユ^あニ^あレ^あル^あサ^あニ^あ
 海^あノ^あ月^あの^あさ^あわ^あり^あニ^あは^あら^あぬ^あ姫^あノ^あ松^あ
 扇^あ何^あの^ああり^あぬ^あ前^あウ^あほ^あこ^あう^あひ^ある^あ
 日^あの^あ時^あ計^あと^あな^ある^あや^あ高^あ人^あ
 先^あ生^あと^あい^あて^あ天^あ吹^あき^あて^あニ^あや^あり^あ
 つ^あめ^あの^あ次^あは^あ常^あの^あ風^あを^あふ^あつ^あと^あま^あく^あ
 千^あ活^あ喧^あ嘩^あは^あて^あ悴^あの^あ仲^あさ^あし^あ
 是^あを^あし^あて^あと^あう^あて^あ来^あと^あ馬^あの^あ一^あ

な
い
二
段
の
入
り

銀座 伊東屋製

九句以上正位

28

九句下位

先除を浄治てあらそ新荷の茎
月の夜：戸さしてぬある草の庵

其^{（音）}聲^{（音）}ひよ^{（音）}は^{（音）}響^{（音）}の^{（音）}鳴^{（音）}

古^{（音）}原^{（音）}あ^{（音）}明^{（音）}了^{（音）}く^{（音）}な^{（音）}れ^{（音）}内^{（音）}の^{（音）}や^{（音）}

東^{（音）}年^{（音）}の^{（音）}菊^{（音）}造^{（音）}ら^{（音）}う^{（音）}と^{（音）}思^{（音）}ひ^{（音）}多^{（音）}り

黒^{（音）}暗^{（音）}も^{（音）}小^{（音）}便^{（音）}て^{（音）}さ^{（音）}あ^{（音）}女^{（音）}の^{（音）}便^{（音）}た^{（音）}こ

地^{（音）}震^{（音）}後^{（音）}の^{（音）}ひ^{（音）}て^{（音）}り^{（音）}の^{（音）}こ^{（音）}の^{（音）}花^{（音）}の^{（音）}れ

焼^{（音）}く^{（音）}阿^{（音）}と^{（音）}ぬ^{（音）}れ^{（音）}ハ^{（音）}女^{（音）}房^{（音）}の^{（音）}そ^{（音）}ん^{（音）}せ^{（音）}オ^{（音）}

圓^{（音）}巾^{（音）}き^{（音）}の^{（音）}ち^{（音）}の^{（音）}管^{（音）}み^{（音）}乃^{（音）}ち^{（音）}以^{（音）}悒

帛^{（音）}ひ^{（音）}こ^{（音）}い^{（音）}若^{（音）}後^{（音）}家^{（音）}の^{（音）}う^{（音）}ち^{（音）}を^{（音）}な^{（音）}り

何^{（音）}政^{（音）}の^{（音）}事^{（音）}物^{（音）}喧^{（音）}嘩^{（音）}下^{（音）}女^{（音）}の^{（音）}と^{（音）}れ

此^{（音）}ノ^{（音）}如^{（音）}キ^{（音）}ノ^{（音）}類^{（音）}ノ^{（音）}中^{（音）}ニ^{（音）}ハ^{（音）}鄙^{（音）}俗^{（音）}ノ^{（音）}言^{（音）}語^{（音）}ヲ^{（音）}用^{（音）}フ^{（音）}

ト^{（音）}モ^{（音）}比^{（音）}ノ^{（音）}如^{（音）}ク^{（音）}ナ^{（音）}ラ^{（音）}ス^{（音）}ン^{（音）}ハ^{（音）}其^{（音）}好^{（音）}ヲ^{（音）}吐^{（音）}ク^{（音）}俄^{（音）}ハ^{（音）}ス

又^{（音）}都^{（音）}々^{（音）}ハ^{（音）}猫^{（音）}一^{（音）}層^{（音）}呂^{（音）}松^{（音）}ノ^{（音）}下^{（音）}ニ^{（音）}モ^{（音）}ナ^{（音）}レ^{（音）}ト^{（音）}人^{（音）}情

ノ^{（音）}ア^{（音）}ル^{（音）}処^{（音）}ヲ^{（音）}述^{（音）}ル^{（音）}此^{（音）}ノ^{（音）}如^{（音）}ク^{（音）}切^{（音）}ナ^{（音）}ル^{（音）}モ^{（音）}ノ^{（音）}ハ^{（音）}非^{（音）}ル^{（音）}ハ

シ^{（音）}ノ^{（音）}最^{（音）}モ^{（音）}人^{（音）}口^{（音）}ニ^{（音）}脛^{（音）}灸^{（音）}ス^{（音）}ル^{（音）}モ^{（音）}ノ^{（音）}ニ^{（音）}行^{（音）}月^{（音）}ヲ^{（音）}和^{（音）}照^{（音）}ス^{（音）}

氷^{（音）}雪^{（音）}の^{（音）}け^{（音）}ら^{（音）}れ^{（音）}せ^{（音）}め^{（音）}て^{（音）}言^{（音）}の^{（音）}花^{（音）}好^{（音）}リ^{（音）}と^{（音）}ノ^{（音）}句^{（音）}

如^{（音）}キ^{（音）}ハ^{（音）}巧^{（音）}ニ^{（音）}雪^{（音）}月^{（音）}花^{（音）}ヲ^{（音）}一^{（音）}句^{（音）}ノ^{（音）}中^{（音）}ニ^{（音）}込^{（音）}メ^{（音）}ト^{（音）}シ

ト^{（音）}人^{（音）}情^{（音）}ヲ^{（音）}尽^{（音）}ス^{（音）}ニ^{（音）}呈^{（音）}ス^{（音）}又^{（音）}ハ^{（音）}鈴^{（音）}の^{（音）}よ^{（音）}せ^{（音）}床^{（音）}

お^{（音）}あ^{（音）}ら^{（音）}し^{（音）}め^{（音）}し^{（音）}の^{（音）}名^{（音）}を^{（音）}あ^{（音）}き^{（音）}目^{（音）}ニ^{（音）}映^{（音）}ス^{（音）}ト^{（音）}云^{（音）}フ^{（音）}ノ^{（音）}如^{（音）}キ

涙

銀座 伊東屋製

下
下
下

最モ能ク婦人ノ痴情ヲ写セシモノト云ヘシ
 < 此ノ如キノ類或ハ猥褻ニ流ルノ嫌ナキニ非
 サルモ之ヲシモ尤メナハ都々一ノ味ヲ失ニ至
 ルヘシ < 人アリ都々一ノ盛ニ行ハルコト見テ
 之ヲ嘆シ風俗ヲ乱スト云フモノアレトモ人ノ
 淫情ト云エノハ到底免レサルモノナレ
 余ニ之ノ行ハルコト更ニ大息スル程ノト思
 ハサレシ < 然レ此言餘リニ猥褻ニ流ルモノ
 ナラシメト云フニ非サル也 < 又之ヲ大ニ
 リンモノヲコハニノセニ
 色也者死何る比本有る人ニ初音をよせしほと
 き去
 蓋余や出てゆく烟リハのこるく烟の積のたぬ
 雪と中よくねている竹をさくらや雀の来ておこ
 高いつくつはほろ岩角哉落葉や一ツの籠のみ
 中
 黒土田川さへ樟さしやとく春せと、おぬわ
 のおぬわ

銀座 伊東屋製

二下

一 亥ふつりりおれ多る後「喜ぶまこ」ぬ
 遠くはあはて咲花はては分さの阿らしのき
 ぬしあやのりかほとあされぬ胸の操さ
 兄るあはては
 何れあはては
 告白 表向 腹場
 常耳唾の解 七少ナケレハ 記憶セシ中ノ巧ナリト 思フヲ載
 セタリ 猶発句川柳都々 共ニ巧ト 思フモ
 ノアレハ 記セン 又端歌 如キニ至テハ 巧ナ
 ル者少ナシ 概スルニ 作者ノ巧ヲ求ムニ 愚
 ル勿ラシヤ 又長歌富本帝盤津清元一 中ノ 歌
 ニ至テハ 多クハ 一条ノ 痴話ヲ 綴リシ 己ノ 十レ
 是ヨリ 風俗ノ 影響スル 所カ ラカク 余ヤ
 今日ノ 考フル 所ハ 此ノ 如シ 國 歌 國ヲ 賞讃シ 愛國
 心ヲ 表サシムルカ 爲メニ 筆ヲ 用テ 歌ヲ 撰ビ 終ル
 可成レ 歌ノ 又ハ 完全ナル 者アリテ 人民 比レヨ
 官歌ノ 類ナシ

銀座 伊東屋製

No. 24

一 亥ふつりりおれ多る後「喜ぶまこ」ぬ
 遠くはあはて咲花はては分さの阿らしのき
 ぬしあやのりかほとあされぬ胸の操さ
 兄るあはては
 何れあはては
 告白 表向 腹場
 常耳唾の解 七少ナケレハ 記憶セシ中ノ巧ナリト 思フヲ載
 セタリ 猶発句川柳都々 共ニ巧ト 思フモ
 ノアレハ 記セン 又端歌 如キニ至テハ 巧ナ
 ル者少ナシ 概スルニ 作者ノ巧ヲ求ムニ 愚
 ル勿ラシヤ 又長歌富本帝盤津清元一 中ノ 歌
 ニ至テハ 多クハ 一条ノ 痴話ヲ 綴リシ 己ノ 十レ
 是ヨリ 風俗ノ 影響スル 所カ ラカク 余ヤ
 今日ノ 考フル 所ハ 此ノ 如シ 國 歌 國ヲ 賞讃シ 愛國
 心ヲ 表サシムルカ 爲メニ 筆ヲ 用テ 歌ヲ 撰ビ 終ル
 可成レ 歌ノ 又ハ 完全ナル 者アリテ 人民 比レヨ
 官歌ノ 類ナシ

11
11

屋上

31

二文字下

屋

屋

吟誦スルカ如クハ實ニ欠ク可クサルノ下ニ
 早ク此ノ如キ類ノ作アルハ皆ハ可レト云セ
 爾テ都々一ノ如ク中モ一ハ言語ヲ猥褻ニ用ヒサ
 シハ大ナル害ヲ集ス下ナレト信スル

雪中松
 松波舟具之

白雪の如く此多より阿娘は氷て見ゆるハ松
 の操ありたり

すり枝よめ
 林在雪臣

心セト谷のふとこ山のこし白雪のぬらぬら
 傾のあつ

つき屋の催促せんと 雷山人

二交三交人哉やつてはあ多のぬらのうそ哉つさ
 尾の腹の泣のうそ

長し短し四角まんま
 丸ぼん豆福玉のせて行かんば

□ △ ○

う屋の年を一休はぐして月見哉

川柳

目よめおぬ歯ハ八歯て毛のさむくれと
 このろまち下女ちり紙の鹿王とら

二
二
二
二
二

銀座 伊東屋製

原文
矛盾
我道

其(15) 每下毎下毎と比
孝行の(忘)毎、時分、親は(5)

都(2)

おその帰りを待身(2)なりてとめたむうしり他

兼哉しる
別
滝て(可)水のほらひのましの邊てこいれ身

又(1)句

志おのろかち(2)と柳の一ちきろ
古地や(可)水(可)水(可)水(可)

矛盾ノ熟字

昔楚(国)ニ矛盾トテ賣(者)アリケリ

買(人)ト云フ人アルハ我(言)ヲモテ刺セ

鐵
鉄ノ盾ナリ共(必)ス能ク徹(云)ス

又其(盾)ヲ買(人)ト云人アルハ我(盾)ヲ以テ防ケハ

能ク徹(ス)スト云一(後)二人アリテ是(盾)ヲ

誌(り)

テ然(テ)ハ(女)カ矛ヲモテ(女)カ盾ヲ刺(サ)ル如(ク)

傾(ケ)シ(テ)言(ハ)筋(リ)テ(賣)スナリ又(ト)云

非子之出テ夕ニテ琅邪代醉編ニモノセタリ

杖ノ効能

曰本ニテ老年ニテハ其腰屈^屈直^直スルニテ

ハナルモノアリ[〓]西洋ニテモ老人自ラ体力ノ

衰[〓]フ心[〓]力[〓]ニ幾分力前ニ屈ス[〓]ト申モ曰人ノ

如ク甚シキハ[〓]是[〓]一[〓]ニハ腰[〓]ノ屈[〓]ノ坐[〓]

常ニ前ニ屈ス[〓]ノ習慣コリ曰人ハ此ノ如キ

ニ至リ[〓]シテラ[〓]ニ[〓]是[〓]ノ割合ニ短カキモ其習慣

ニテ發達ヲ妨クルナラ[〓]ニ[〓]又[〓]一[〓]ニハ洋人若キ

ヨリ杖ヲ推[〓]テ往來[〓]用[〓]人[〓]ニ從前此[〓]事[〓]ナシ

ト[〓]是[〓]又腰[〓]ノ屈ス[〓]ト否トニ因[〓]ス[〓]ト少[〓]小[〓]ナラ

ナル[〓]ト[〓]性[〓]柔[〓]ノ古[〓]人[〓]ハ小[〓]供[〓]ノ用[〓]ヨリ[〓]杖[〓]ヲ用

フ[〓]故[〓]盲人[〓]ノ腰[〓]ノ屈[〓]ニシハ[〓]十[〓]ニト[〓]是[〓]レ[〓]或[〓]人

ノ説[〓]ナ[〓]カ[〓]其[〓]是[〓]非[〓]ハ知[〓]ラ[〓]ス[〓]先[〓]テ[〓]之[〓]ニ載[〓]マ

楮孟ノ一

余年十八[〓]病[〓]ヲ[〓]家[〓]師[〓]ニ[〓]養[〓]フ[〓]日[〓]夜[〓]徒[〓]然[〓]ノ[〓]餘[〓]別[〓]墅[〓]ノ

書[〓]庫[〓]或[〓]ハ[〓]偽[〓]書[〓]ノ[〓]古[〓]書[〓]ヲ[〓]藏[〓]メ[〓]シ[〓]庫[〓]ニ[〓]入[〓]テ[〓]檢[〓]々[〓]ノ

物[〓]ヲ[〓]取[〓]出[〓]シ[〓]テ[〓]覽[〓]ミ[〓]シ[〓]カ[〓]一[〓]日[〓]一[〓]函[〓]ニ[〓]楮[〓]孟[〓]ノ[〓]表[〓]書

銀座 伊東屋製

6
お

スル者ヲ見出しタリ
 余之ヲ見ルニ本根ヨリ
 テ製シタル大盃ナリ
 割ニ中記アリ
 孔廟ノ
 楮木ヲ以テ造ルトアリ
 之ヲ臥スルハ金盃ノ如
 ク之ヲ覆セリ以テ盃トス
 余思フク是レ
 珍番也
 其我家ニ入リシ由來分ル
 方ラスト
 然レハ別ニ之ヲ記セシモノナシ
 常ニ我家ニ
 在テ稀代ノ珍物ト物シ
 其人ニモ知ラズル
 物ハ
 秀才壺
 蘇氏
 印言
 蘇氏又稱
 管知章
 孝經
 藏ノテ
 室庫ニアリ

6
お

必ス其記勿ラスヤハト大ニ之ヲ搜索ス
 後
 教日ヲ經テ古書函ヲ驗セシ中ニ楮盃之記
 題セシ一巻アリ
 余之ヲ用テ見ルニ孔廟楮杯
 ノ四字ヲ首ニ題シ其奥ニ琉球人程順則清ニ使
 セシ孔廟ニ謁シ楮木ノ蕃根ヲ得タリ
 夫子没
 スルヤ弟子各一樹ヲ廟ノ邊ニ植エタリ
 楮ハ曾
 子ノ植ヘシ所ト云フ
 程順則後天朝ノ時
 此ノ國白我祖家ニ奉リシ
 此記ハ杯ト
 共ニ奉リシ書ニ
 程順則ノ自ラ記セシモノ也

此ニ於テ其由來ヲ知テ得テ喜ニ堪ヘス

銀座 伊東屋製

人ニ示スニ珍キトセサニモノ十シ
 家ニ帰
 テ爾君ニモ其旨ヲ伝ス
 君ニ亦大ニ喜フ
 後
 二ノ圃ヲ程順則ハ琉球ノ聖人ト呼ハレシ人ニ
 于琉球ノ能ク強國ノ精進食ニ過ハサリレモ此人
 ノ計画ニ出ツト云フ

龍ノ揚ケルモ
 和漢古今ノ名篇佳
 句ニノ耳及ホレ
 和漢古今ノ名篇佳
 句ニノ耳及ホレ
 耳及ホレ
 和漢古今ノ名篇佳
 句ニノ耳及ホレ

ハ忽チ之ヲ録シ以テ遺忘ニ備ヘト
 先ノ春夏秋冬各ノ四季ヲ初メトシ
 詠史詠物名勝竹枝ノ類ハ各節ヲ分チ
 又之ニ浅ウモ一ハ之ヲ雜部ニ載ス
 蓋シ此部門ヲ分ツハ他日之ヲ搜索
 スルニ便ナラシムル也ナリ

傷心月下了迷因刻意花前証
 散秋中易老看花人
 即山漫士
 神波
 鹿耳門易虧殘花易

銀座 伊東屋製

長堤

須向長堤一揮。依稀景物小江春。春風楊柳歌三疊。烟雨樓臺酒半酣。初嫩草添遊子恨。未開花似世郎歡。玉鉤斜照低回久。我是再生陳浪菴。

蒼塘散史

橋本

春雪

春

春清

春

春

一霎黃昏風亂吹。半絳樹半粘枝。飛如柳絮忽難捉。看做梅花渾不疑。低酌陽簾人語細。沈吟出寺馬蹄。歸可憐。今夜流書士。欲借餘明些子兒。

春湖帆影

三溪隱士

春

春

坐而不動識多風。坐入浦雲汀樹中。倒映澄波最明。

麗遠銜微雨。太朦朧。烟收鷗背一行白。日出橋頭十幅紅。記得瀨田橋上曉。比良峰外認孤鳴。

一月一日出遊

渾上漁史

春

春

自知疎懶逐年加。無賴春風位鬢華。猶有痴情不相忘。梅亦隨例買梅花。

春下

春清

春

春

却飛何處忽聯翩。又是沙明水碧天。柳弄東風暖吹雪。月生南浦夜如煙。一彈湘瑟不堪怨。重上秦琴第。可憐自古猶多感。伊州曲。四能更潛然。

春夕偶作

松塘釣史

春

春

銀座 伊東屋製

未覺春來日漸長。同人自笑有何忙。此詩評画仍題
帖。倦欲呼酒已夕陽。

春朝風

三條西季知

昨日よりいかに長閑となりたり春のく、
は風や阿るらん

同后

湖雲小史

言門深

鎖送残春。夢斷事寔不見人。滿砌落花紅欲
尽。杜鵑声裏雨如塵。

燕花

蘆六醉士

秋山

夢未全醒又一春。雨推風妬奈前因。名花竟使東君
寵。似深宮薄命人。

厭了繁華送了春。風雨是前因。落花中酒豈堪
恨。我亦江淹夢裏人。

惜春詞

湖山翁

小野

芳。蔓。荒。夕。欲。回。祥。春。天。碧。海。枉。相。思。笙。歌。一。枕。於。仙
夢。杯。酒。三。春。送。別。詩。幸。苦。釀。花。々。已。老。生。成。在。雨。々
忘。知。年。來。自。覺。涼。枯。理。闌。到。今。朝。又。却。悲。
管。々。老。燕。啼。雛。春。恨。春。愁。空。有。無。無。眼。風。花。韶。景

去

銀座 伊東屋製

盡傷心草樹夕陽孤。莫言一去非長別。他日相逢豈
故吾。要回東君歸着。夢魂飛渡五娘湖。

春俠雜詞

松塘釣史

魚

馬上淪詩醉半殘。寺門細雨落花寒。豐碑新勒高凌
屋。停却金鞭並騎看。

別

粉面谁家年少郎。短鞭窄袖紫游韁。旗亭酒散餘歡
在。更上江樓醉一場。

春草

香岩居士

神田

光風漾蕩夕陽薰。烟入平蕪澹不分。南浦綠波才子
賦。六朝白骨美人魂。牛歸短笛孤村雨。馬踏長亭一

路雲。今日楚宮何處在。空留幾幅碧羅裙。

待花詞

春濤辭史

志

花不來。我少在門候幾回。東台山色青崔嵬。花欲來
昨風。今雨苦相催。赤城霞色半天開。花盡來。我掃吾
門無真埃。花合來。吾嫌俗屐損青苔。花未來。飛
汝為之媒。花已來。交交。鳥汝。相陪。管兒來。林之隈。
蝶兒來。墻之隈。花將一笑媽然來。

戲詠落花

松塘釣史

魚

玉貌当初下目傾。一朝凋落轉堪驚。花情也似愧衰
醜。飄。莫。蒼。苔。終。不。聲。

墨江送春

秋村吟客

年川

流水不問春脚奔。淺渚愁在墨江源。睡花胡蝶亦周
夢。啼月杜鵑愁蜀魂。茶店烟空懸幾榻。酒亭風靜捲
殘幃。

二番韶老有限紅顏老。無賴鐘聲報飲日。

晚晴雨中

湖雲小史 大雨

不堪汲水浸瓶花。独坐茅齋靜不譁。

譁。晚留隨風送隔

柳昏潮送雨。遠藏沙。黃昏烟際未芳樹。紫燕泥沾
落花小。困捲簾春寂。案頭一卷展芳華。

墨水倚危

学海漢仙

依田

夜。空。傳。水。妙。多。涯。月。里。江。村。寂。下。家。暖。氣。翻。或。一。天
雨。賞。花。未。半。已。傷。花。

勝地東亭墨水涯。長堤之下是吾家。春來最是誇人
說。一座樓臺四面花。

次韻

一石居士

崇石

寫書堆裏寄生涯。自笑多年官作家。歸臥故山非不
好。山多此墨陀花。

別

旌。遍。東。台。又。墨。涯。長。街。日。夕。步。歸。家。俸。錢。一。擲。三。春

酒不負君恩不負花。

今

雍江客漢

河田

在。九。祠。邊。墨。水。涯。最。多。好。景。是。君。家。一。年。春。夏。少。風。雨。看。自。用。花。到。落。花。

茶。煙。禪。榻。淡。生。涯。買。醉。何。曾。過。酒。家。七。椀。清。風。試。吟。步。今。年。花。勝。去。年。花。

墨陀歡花

香宮漫士

神田

探。春。我。在。上。游。船。新。水。油。分。綠。半。篙。十。丈。夕。陽。灑。倒。影。金。龍。層。塔。出。花。高。玉。人。何。處。唱。離。歌。奈。此。無。情。春。色。何。一。暮。東。風。吹。淚。

雨。梅。兒。塚。上。燕。花。多。

花後出城書所見

三邊隱士

菊池

折。水。年。華。轉。眼。新。滿。城。芳。草。半。成。塵。風。中。花。似。飄。零。客。雨。後。山。如。出。浴。妝。暫。夢。醒。未。醒。亦。夢。三。春。老。矣。老。猶。春。也。無。士。女。贈。紅。藥。秦。海。江。頭。吹。綠。蘋。

江上春興

春壽醉史

本林

曉。衫。猶。漬。酒。痕。紅。餘。醉。未。醒。殘。夢。中。吹。入。桃。花。吹。入。柳。最。無。聊。賴。是。春。風。

三。匝。社。前。花。白。紅。三。又。洲。畔。月。將。中。輕。舟。繫。在。橋。邊。柳。不。趁。柳。暮。北。風。

朝

銀座 伊東屋製

令

櫻花無水不麗娟。流水無花難清妍。墨陀江上積雨
霽。新水溶溶漲如煙。春風度水入櫻花。千樹萬樹香
相運。美人住在江東岸。花壓牆屋鳥聲咽。醉花吟水
好相共。渡口乃呼詩。酒船花影浮。水無餘地。孤棹撐
破雪一川。

羽峯樵史

南齊

8

令

花外樓臺日。二州金龍影。暖大江流。賞心却在前頭。
上。兩岸春風看月浮。

朗廬山史

阮谷

8

令

醉顏紅似落。花紅身坐春波。搖蕩中。欲倚垂楊。翠
船怕他柔。晚不勝風。

湖山公羽

小野

8

令

香輪花外轉。飛紅花底舟。行鏡影中。隔水結樓。蘆
捲春人笑。倚柳綠風。

澤上漁史

成鳴

8

令

顏。午。桃。苑。一。樣。紅。相。簾。影。夕。陽。中。美。人。一。醉。梅。頭。
睡。春。夢。輕。於。柳。絮。風。

醉石吟客

鎌田

8

令

夾岸亭臺雨霽時。門。楊柳。繫。春。思。何。人。清。唱。倚。桃。

落塘散史

橋本

8

銀座 伊東屋製

二字下

葉。幾。處。嬌。喉。和。竹。枝。繡。陌。有。聲。多。白。馬。西。橋。無。影。不。
青。旗。請。君。試。飲。墨。陀。酒。可。許。西。人。誇。鴨。渚。

夏部

鴨東首夏做高青邱作

三溪居士

菊地

月。三。更。鶯。一。聲。美。人。病。悲。落。命。隔。樓。有。客。眠。未。回。絲。
聲。斷。流。度。水。來。誰。低。唱。鴛。宿。梅。

夏夕即夏

夢者小史

上

酒。寬。清。愁。欲。斷。魂。手。緒。涼。語。情。無。言。一。檐。虛。榻。花。若。
雪。月。冷。子。規。聲。裏。村。

回

鱸六醉士

秋山

涼。臺。風。冷。亂。簷。鈴。冷。罷。困。人。午。困。醒。猶。是。流。書。燈。未。
上。柳。煙。籠。月。一。簾。青。

墨陀即夏

梅潭吟侶

杉浦

疾。雷。聲。午。雨。聲。迅。餘。滴。青。樓。又。碧。荷。川。色。破。煙。綾。似。
練。月。光。出。樹。鏡。如。磨。觀。燈。樓。到。初。更。開。載。酒。船。從。去。
歲。多。堪。聽。江。村。秋。已。近。斷。蛩。幾。處。咽。汀。莎。

湖亭亭酌

堂表川小漁

岩溪

小。亭。屏。對。小。西。冷。十。里。湖。光。面。夕。亭。月。入。欒。花。鷗。夢。
白。風。吹。揚。柳。留。聲。春。前。恨。更。暉。如。影。酒。後。相。思。不。
易。醒。此。夜。玉。人。簾。未。下。清。歌。一。曲。感。相。罄。

銀座 伊東屋製

所国納涼
 葦村耕者
 珠簾映水夜
 一痕月上小紅橋
 遠笛無声生暗潮
 剝地風来雲又

墨堤初夏

鷗鷺故人

高田

白鷗波上弄浮泡
 龍塔影聳林梢
 夏交無復綺羅塵撲面
 松塘釣史

初夏

松塘釣史

鱸

空蕉風戰葉離披
 清畫遊人坐咏詩
 一片輕紗庶不

尽綠雲透影
 流長須眉

水部初夏

春壽醫史

本

流水繞門曲々斜
 兩翡翠猶啣四月花
 新蒲細柳綠交加
 芳菲已歇三春

人家也知荷暑
 輕舟在淺沙
 檀奥漁子
 野南塘柳樹韻

真清水の行衛
 高松保実
 けハオウ鏡
 けよとめよ

夏の初乃月

原文

暮煙

暮煙

44

三子下行

暮

樹陰夏月

今

木のくわの清水のわとをのわ
月影かみなるまじ

緑陰

遷上漢史

高基滯若総相宜。十榻屣呼童子移。午西斜粧樓半廣
暗暮煙釣岸。綸垂悠然者。共玉摩詰。老笑尋芳杜
牧之宿。踏影明林鳩夕。太憐。迷趣勝花時。

秋家

人下力

墨水夜歸

遷上漢夫

或嶋

水光天色西玲瓏。掃尽浮雲一望空。昨日摧花今洗

月。秋風至竟勝春風。

踏水樓臺背月紅。幽絃嬌々有無中。歸舟知近鳥家
岸。絲絳聲高掩夢聲。

清風

秋雨有感

梅潭老漁

杉浦

此際老人魂易銷。西風吹雨轉蕭條。羨他年少秋無
感。有女同車笑過橋。

秋雨懷人

三郊牧夫

秋山

美人何在恨牽纏。秋滴芙蓉易黯然。紅豆烏絲描甚
影。青山粉黛記年前。暗蟲聲瘦堂襟雨。殘柳陰寒水

銀座 伊東屋製

塵 46

秋日偶成

懶倩。腕車。款。帽。紗。困。窓。題。句。墨。痕。斜。劉。郎。愛。酒。原。非。酒。陸。才。耽。茶。何。處。茶。深。厚。多。歸。遺。老。骨。毀。誓。不。到。古。村。花。晚。來。別。有。閒。清。課。午。滌。盆。蘭。汲。井。華。

梅潭吟侶

秋浦 五

桂殿秋

龜崖仙客

大給

月上

東山水一樓

新涼夜話

春濤歸舟史

月生。庭。樹。早。涼。浮。滿。地。盈。夕。似。水。流。手。裏。冰。絃。白。塵。一。揮。字。空。化。新。秋。

湖上秋感

槐南小史

鏡。中。山。色。感。眉。痕。題。壁。依。稀。字。半。存。微。雨。柳。絲。蘇。小。宅。疎。簾。燕。影。黃。愁。村。非。莫。湖。妓。堪。行。酒。自。是。秋。人。易。斷。魂。獨。倚。桐。千。悽。不。語。荷。花。搖。落。又。黃。昏。

秋江別妓

蘆花醉士

莫。是。莫。愁。湖。上。村。蕭。風。雨。易。黃。昏。腰。纏。擲。盡。佳。人。去。縱。不。悲。秋。亦。斷。魂。

冬夜讀書

冬夜讀書

湖山翁

小野

冬。夜。對。書。燈。書。字。不。如。明。非。別。燈。老。暗。為。花。影。得。眼。睛。

卷

伊東屋製

夔 夔 夔

別行

憶哉項王豪語快到身書呈記姓名
冬夜并書卷俯仰感有餘自忘才力落
尚猶費居者
憶哉趙公機采好學境稷契詭何書

松雪

高崎正風

枝多氷し汀のま津とちよりきて水波うへに
つる雪哉

元旦同湖翁石埭櫟寒三郊兒奈澤上訪梅

得四絶句

春壽長史

九

游計探梅何太早新年至後小寒前非如見卯求時

別

夜籬落一枝橫水辺
水以離落最先同我年頭才一回暗香君且自韜

停筆十二

別

暗恐有俗人擡鼻來
俗人擡鼻且休嘆更有微吟擡鼻人唯恐天眞過

別

燮莫教用到十分春
同到十分來較屋暗然如水笛先知可憐請敲梅

別

月笛未知時用一枝

田居雪

潮見琢磨

をこゝるゝ宿りのほろをうべれて雪と浮世
の雪比絶みき

銀座 伊東屋製

美

趁
趁

48

鼎

貌

西日偶詠

春濤詩史

考

曾有謝安兄子朗。又無韓愈姪孫湘。銷金帳內春酒
酒。牆角疎梅倚澹妝。

戲詠蒸麵

松塘釣史

鱸

無復花同雪。穠稠山家霜後趁晴收。豈任是負厭場
積。于礎。于帶。

流喉打腸一飽狀。行限落得信陽即秋。壑壑
信師飛席浮。大碗盃來香撲鼻。細絲抽出脆

同

遷上漢史

成鳴

遠北賓鴻自信陽。確磨功就雪盈筐。斷機線。刀何
利。握月團之牛亦忙。一白打併嘗紅鴨肉。半匙先與碧
空香。憐渠老去益酸味。几鐸夜寒掛
街上霜。

月影

春濤詩史

考

青天碧海接仙塵。記得分明燕亦真。銀漢近。壺生後
夜。梅花淺水。前身擣衣砧上幾回掛。妝鏡臺前誰
共親。堪笑者。以偷藥女。字他飛鳥欲依人。

告天子十首

節六

三溪隱士

菊池

禽一雙
諸春喧。飛上青霄日易昏。直知身尚心不
定

銀座 伊東屋製

趣

別行

別行

別行

別行

別行

蚤

飛鳥音圓太奇。菜花黃處夕陽輝。小過上得象。皆
 飛三四尺才離地。盤舞新晴欲上天。或拉之。難在亦
 識。名言不朽馬文淵。
 世趣新晴飛戾天。盤旋遙入九霄煙。仰視豎上日停
 平。人影四於盤影內。
 層々寫。墨上雲梯。決皆天心。望欲。速料得。九霄空。

吟收聲直下。菜花西。

詠梅

梅潭吟信

正德山處齋

涼洲。世。僅。似。春。信。而。三。枝。立。展。如。仲。子。亦。非。
 敵。翠。到。伯。東。初。是。鮮。占。寺。雪。香。僧。舍。所。晚。林。雪。冷。鶴。
 巢。歌。多。年。心。契。只。松。竹。不。許。蝶。蜂。追。暖。窺。

戲詠解虫

饒 松塘詩史

龍手雙螭共不空。倒寄鏡。夢落江東。松雲黯。口。渚。田。
 雨。其。雪。漸。少。沙。岸。風。易。鑊。無。端。累。厨。婢。笑。之。省。尚。想。乾。
 澳。翮。洒。也。韻。致。誰。知。汝。雅。和。將。叩。解。郵。出。

銀座 伊東屋製

三才

輕氣球
古川穂生
あらかく
ゆら水

梨花次三溪翁韻
香島漫士
鑄氷為骨雪為肌
艶靜香清分外奇
鏡國瑤顏無粉
色小憐玉体有芳姿
縞衣輕著新粧後
皓齒微開淺
笑時最是惱人寒食夜
簷烟素月一枝白

人刀車
武井逸清
かく人としり、人と小車
免
あかりり

詠鳥
湖山翁
轉旋誰道同書法
臥水眠沙意則渾
輕与一經女換
去山陰道士彼何心
自註碑雅云鶴轉旋其項古之書
者法以動腕義之好鶴者以此
義山白

矢口液
落塘散史
橋本

香塚何辺埋少將
叢祠此地祀新田
我來憑吊滄桑
跡矢口津荒四百年
龍將諸兒皆勇烈
就中庶子最
奇傑單刀正馬捷
如風園車喘
盡戰場血
彼何者
謀奇功
美利甘言賺乃公
可惜直前無遠慮
中流奇

銀座 伊東屋製

福膠舟同。一旦伏号。渡口。君臣駢死。奴手。莫恨。
 深於流水深。河声鸣咽。千秋後。休將禍敗。罪人。
 何誤英雄。身自古興亡。皆有數。從莫君其。回水濱。

棹帶刀

同上

香衣何賤

媿

暇伴嬌嬌。宿憤枕戈。猶未消。若斫仇頭。吞飲。
 器不辭。合盃。在今宵。

新田左中將

同上

宜使長蛇。逸海濱。多情不肯別。佳。人。他年風雪。越山。
 苦坐惜。鴛鴦。一夜春。

柳心

蘇原弘濟

溪川菊。結下水。ちよか。ゆて。なう。道も。汲ぬ。をの。
 心丸。懐

一谷

醉石吟客

鐘田

玉殿珠樓。何処求。但看古寺。倚荒邱。屋山月。暗。巢龍。
 夜。淝水。人。驚。風。鶴。秋。僧。夢。不知。千古。恨。松。声。如。訴。古。
 官。愁。添。平。興。瘵。須。史。變。眼。隔。昔。年。有。海。鷗。

本曾義仲

佐々豊水

大本曾也。たろ。亭山。風は。ましく。比。都。の花。を。ちら。
 し。は。る。の。あ。

銀座 伊東屋製

一
子
車

口
竹
枝
部
八
下
力

小西湖竹枝

槐亭小史

生

別行

阿郎和月按銀箏。儂扣村花吹玉笙。月影迷離花影
亂。一簾春夢不分明。

別行

不分明。最消魂。半是啼痕半酒痕。甚醒春人情
懶。落花叶節又黃昏。

西子湖上變夕月。天妃廟前在夕花。臨別告郎
記春燈紅處是兒家。

熱田雜詩

鱸魚醉

秋山

紅樓系竹鬪豪華。佈酒嬌娃艷似花。二十四番
比百解。

別行

語春風常在美人家。

半臂無端手自添。新愁又復到眉尖。思魂
白月照水精花滿簾。

伊香保雜詩

松塘釣史

鱸魚

別行

人烟一族自成墟。樓閣半空分半居。緣木求魚非
在。一山。高。如。賣。香。魚。

從妓何人把酒醺。層樓歌管夜浮圓。縱然俚曲不
調。也入半天能過雲。

同別

三村老農

雲遠曲欄天未明。浴樓怪在曉涼生。朦朧
窗窺夢。免免。西。

銀座 伊東屋製

別行

際。倒。誤。泉。聲。認。雨。聲。
散。步。歸。樓。日。未。殘。浴。餘。簪。在。且。盤。桓。山。花。幾。種。折。來
好。亂。拈。膽。瓶。看。一。看。

祇園竹枝錄

淋雨散人

千金可擲是春宵。歌板聲收漸寂寥。猶有多情人未
寐。隔花吹徹一枝簫。

全沢

松塘釣史

鱸

別行

往。更。悠。々。一。夢。隨。沙。隄。且。復。認。雙。橋。寧。知。半。夜。酒。醒
後。卻。聽。雨。聲。成。海。潮。
十人謀利牽管弦。活箇能同幾頃田。奪却漁村蝦菜

業湖山無復旧風煙

角鹿竹枝

秀巖居士

明池

尊前休唱竹枝歌。奈此別愁離恨何。欲使郎船留數
日。海門飛浪惡風波。

小湖雜詩

夢香小史

上

絃聲細。阿誰家。月氣如烟籠淺沙。涼露滿身人獨

立。小西湖上着荷花。

風笛。誰家弄。鷓鴣多。涼吹滿美人湖。輕烟一片似龍鱗

影。眉。暈。燈。痕。澹。欲。無。

沙禽啼。友柳梢。風鳥寺鐘沈。月在空。細語。低。人。不

別行

別行

見紅樓半鎖水烟中。

鴨雁口占

一六居士

嘉石

山收紫翠日收紅。醉坐絃聲水韻中。最異情人斷魂

處。流海救真夜。廣凡。

喜華雜詠

錄一

三溪隱士

菊池

月落烏川才幾橋。曉烟罩柳白於銷。街頭午矣玻璃

影照到天明。紅木消。

雜詠

無題

一六居士

出嚴行

相逢縷々吐情絲。自是化鳥鶯結夢。雁落月啼鳥無眼。

好。双。栖。時。是。背。飛。時。

寄柳地詞宗

二首

古香道人

高

意外溪溪洗耳清。夢魂無復到簪纓。一枝彩筆柳橋

柳字出。了。絲。千。縷。情。

群芳咏史

錄一

編松田史

佐治

花之君子。独知音。同此外。痛中直心。太極一圖。圓後

字。後。蓮。孰。手。塵。人。深。

史照

松塘釣史

真齋

孤。鶴。舞。鏡。空。憐。影。独。鶴。長。鳴。竟。奈。何。不。似。化。鳥。蒼。無。失

配。一。生。相。倚。浴。春。波。

銀座 伊東屋製

茶

55

懷

別

阿

呈花月社長
 振腕喜談談。風流今日送餘生。好將裁霧縵磨
 手。寫出偎紅倚翠情。聲句可無名。七和新篇佳有美
 人評。秦淮烟水揚州月。渾向樊川筆底明。
 花紅玉白待君評。好向揚州載筆行。豈應梅蕊春嬌
 倚。名許否茶烟。禪榻。多時留我話三生。
 荷花詞
 菊外逸人
 胎羅

池塘欲曉水烟籠。珠露傾來葉顛風。昨夜紅林納涼
 宴。帶醒人立藕花中。

疑。午池蓮結淨絲。滿身花氣是真詮。把他芍藥休相
 比。縱使薰人不破禪。
 自註山谷芍藥詩云
 友氣薰人欲破禪

題畫
 柔荑弄筆。翰風情溢素幅。何處涪州陽。獨生相思竹。
 懷人
 三邱牧夫
 杉山

曾從鶴背解腰纏。回首揚州一惘然。歌吹春迷殘夢
 外。芙蓉紅醒早寒前。半奩眉暈月如影。十里蘆花燈
 墮。烟風裡羽衣秋不賜。玉生聲斷西橋。上

思韻五首
 夢香瘦仙

銀座 伊東屋製

別行

淚。乞。倚。枕。忽。逢。君。
 思。証。東。歸。果。手。蘭。因。古。梅。瘦。似。苦。吟。密。新。柳。弱。於。扶。
 病人。此。際。春。風。尤。有。恨。無。由。沽。酒。過。前。津。
 鳳。別。鸞。分。幾。十。旬。西。屏。亦。欲。喚。真。心。詩。中。芳。草。抽。殘。
 夢。影。外。雙。鴛。託。風。因。太。可。憐。多。病。才。子。最。難。心。薄。命。
 佳人。倩。誰。寄。了。相。思。字。桃。葉。烟。波。隔。遠。津。
 書。悔。自。悔。警。湖。山。翁。野。

題美人醉餘因

柳條小更

柳條小更

閣

殘。粧。猶。見。臉。如。脂。一。奩。春。怨。上。黛。眉。曉。夢。絲。羅。金。綺。
 在。日。高。小。閣。捲。簾。屏。

無題四回韻

落塘散史

橋

向。歡。飄。背。付。塵。沙。回。首。東。風。吊。夢。華。腸。斷。白。門。新。柳。
 記。歌。殘。玉。樹。後。庭。花。暮。山。含。雨。蛾。眉。春。水。拖。風。四。羅。帶。
 斜。一。自。深。儂。許。情。種。心。田。今。日。尚。生。芽。
 香。化。輕。塵。五。化。煙。用。陳。瑞。范。之。却。海。葶。空。帶。人。生。莫。信。保。
 百。年。壽。月。色。曾。無。今。古。落。

園花由過去業粘泥紫

言未東緣 微波何處尋消息 拈笑陳王賦裏仙

銀座 伊東屋製

匪回

魏叔兒秋夜代人作

五引

本

秋欲老矣。恨如何。三星在戶。一雨無聲。感時

序之遙道。心如栖鶴。常驚悲歡場之蕩。莫人與

陰與共泣。夜寒如水。明月浸羅袖。木葉易霜。西

風吹鬢絲。十更簾前。結往年之夢。三生石上。

難逢一笑之人。存君慨嘆。偶自填詞。句由

畫樓猶記吹笙夕。也好柳也。也好荷也。袂如雲。秋不

寒。隊歡難拾。湘簾落。到也清魂去也。清魂片

用依

影隨烟

移倚五首

本

移倚員。卸好。隨意弄春光。小徑穿花曲。疎離傍竹長。

昨夜池頭雨。朝來水送香。

松而錫上人遺稿刻成次湖山翁題詞韻題後

原四

春壽

子要纖穠。不要奇。老禪况味。入無名。尋常一樣口頭

活字上冰筴。便是詩。

鉢中甘露。三生偈。衣裏明珠。七字詩。東

廬山花南浦

銀座 伊東屋製

別

柳無人亦靜相思
是禪是詩細若同
無適無莫秋月中
誰識各無隱
手
木樨香裏起清翁

吳幼女阿紋

松塘釣史

寧知忍漫赴泉臺

泉路孤行且莫哀
地下有兄先
汝

別

在應憐小妹返蹤來
臨絕音不忍聽
膏七首其奈藥無靈
呼耶娘又喚諸
婦更誦數行三字經
老淚難支滿臆橫
一回一憶一傷情
痛來欲信瞿曇

別

說望世轉輪重受生

酒樓書感

夢香情史

漏箭聲池酒又醒
依稀鬢影上湘屏
撫來往意腸先
新社到他生涕易零
遠樹和煙茫如夢
始燈隔水小
於星夜深休唱打壤怨
長中懷不忍聽

雜贈四首

槐南小史

別

長賓綠禪榻綠茶香
秋後誰憐薄僥郎
西鄰烟花留
金炉已煖有餘香
玉漏無声月轉廊
好滴海棠花上
所教行和淚註西廂

夜飲湖亭偶然有感
三橋釣侶

湖。面。雨。過。未。輟。涼。珠。簾。暮。捲。倚。蒼。茫。秋。風。故。國。夢。千。
里。游。子。離。愁。天。一。方。柳。外。燈。青。人。語。細。鷗。汀。月。白。藕。
花。香。誰。與。乘。興。弄。湘。管。聽。者。酒。醒。還。斷。腸。

代友人悼亡妓某
懷川小魚

嬌。魂。一。去。隔。重。泉。雙。鯉。不。知。何。處。傳。衣。上。有。痕。印。涕。
淚。鏡。中。無。鏡。照。嬋。妍。琵琶。絃。斷。情。難。繫。翡翠。簾。空。夢。
尚。薄。浮。竹。蕭。之。粒。因。靜。阿。誰。又。倚。暮。寒。前。

別妓
醉石吟客

西。眉。樓。上。唱。陽。關。紅。袖。曾。有。指。環。今。夜。相。思。做。銀。
漢。明。朝。遺。恨。隔。蓬。山。落。花。無。力。辭。枝。處。殘。燭。不。言。無。
淚。間。借。回。婦。娥。解。情。否。慙。慙。用。鏡。照。離。顏。

回夢
夢香瘦仙

回。夢。描。來。祇。惘。然。人。生。易。過。是。華。年。梅。花。淺。水。依。微。
月。楊。柳。重。門。黯。澹。烟。吾。輩。酒。愁。憑。綠。酒。阿。誰。許。恨。上。
紅。絃。多。情。未。識。凡。流。罪。又。醉。香。頻。珠。笑。也。

轉聽曲
龜岬仙客

漏。尽。漏。尽。花。外。一。簾。烟。日。影。轉。西。廂。夜。深。燈。花。有。喜。
思。長。思。長。思。人。与。海。棠。未。醒。

題八幡山過分乘園因
醉石吟客

銀座 伊東屋製

前九後三經戰場。春山立馬望家鄉。鐵衣亂。吳櫻花。雪。白于將屋。兩鬢霜。

吟情

蝶園逸史

吟情潦到官情微。只合韻光原莫違。紅曲近。番新樂。存。綺樓空戀。回烏衣。江花江草。愁如昨。秋兩秋。風人未歸。憐教波。頭一株柳。傷心夜。乞減腰圍。

江樓小集似校書某

韻末漫士

吉田

休把浮沈上話頭。一簾暮色不堪愁。青衫搖魄紅羅老。細雨輕風。回酒樓。

寄懷蓉塘散史在西京

夢香瘦仙

上

別

蕭然靈鷲山頭雨。冷絕清鳴寺裏雲。憑吊知君多涕淚。義人墓。又美人墳。

籍甚才名在上傳。悼亡詩句最纏綿。埋香塚畔相思淚。洒向涼風暮雨天。

讀蓉塘散史遺韻賦贈

香宮漫士

神風

別

花姿月貌已成塵。春夢無痕了。旧因。讀到哀詞腸乍斷。情天我亦善於人。留得当年繫。翠屏紗。却塵已隔。旧容華。多情白。似傷心。甚。零落。西天。錦意花。

別後寄懷蓉塘

春濤留史

去

原文
紙

阿僧^祇劫百由旬。稱佛稱魔孰是真。欲思凡夫虽有罪。情天教主豈無因。碧雲千里別游子。明月一方懷美人。唯使此心參色相。借他靈燭破迷津。

不倒翁

三溪隱士 菊地

8

不倒翁。不倒翁。翁誰所造。酷精工。西倒東扶。公又倒。面目鬚眉与人同。百拜叩頭如謝罪。無乃法吏所彈劾。回其本來唯空空。安知胸藏福壽海。不倒翁。公母憶躬。虽辱倒尚能振。君不見趙宋君臣拜犬豕。此膝一屈不復伸。

返魂香

水原芝

なく^をあ^とた^たてし^た 烟の中^この^こ思^ひの^ここ^ろき^き添^えられ

紙寫

近藤芳樹

い^のち^をせん^ん浮^身は^のち^をか^かせて^るな^ほり^まし^のほ^をし^りよ^をを

海上眺望

視所教子

二見の每朝日ま^つまの波乃上^こあらはれそめし^のの^の遠^くや^ま

十一

のたりし^のを^しめ^り

前田夏繁

銀座 伊東屋製

京洛豐於花。香園競絕藝。其名永傳世。其名永傳世。

歌妓入道

三溪隱士

菊池

登卸紅粧着素縑。殘花春瘦有餘姿。拈香禮佛初大三
誓海盟山彼一時。誰度翠娥為弟子。便知白足是
良師。嬌腔日把金經誦。不似當年唱竹枝。

偶吟

城山居士

中村

日長人訪少。我亦愛吾廬。微雨花如浴。輕風柳似梳。

美人調箏圖

澤上漁史

或嶋

涼臺向晚捲湘簾。惜年冰絲線之添。偷眼迷離金
影暮雲過在玉纖。夕。

美人影

春濤留史

杏

香炷為誰燒。一回煙中魂。身影徘徊雪裏前。殿金簾
捲。貓戲深宮半帳用。明月石山傳。艷史名花園。寺吊
荒苔多。清佛亦感秋草林。杪夕陽尋路來。



